

第八十六回帝國議會
衆議院

船員保險法中改正法律案委員會會議錄(速記)第九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
現役青年學校職員俸給費國庫補助法
案政府提出 貴族院送付(第二
二號)

昭和二十年二月五日(月曜日)午後一時
二十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村松 久義君
理事 仲井間宗一君 理事渡邊 健君
藏原 敏捷君 清水留三郎君
菅又 薫君 米田 吉盛君
高城 憲夫君 中越 義幸君
松岡 俊三君 森谷 新一君
最上 政三君 山口喜久一郎君
吉川 大介君

出席國務大臣左ノ如シ
文部大臣臨時 伯爾兒玉 秀雄君
代理國務大臣 出府政府委員左ノ如シ
文部政務次官 今井 健彦君
文部省總務局長 永井 浩君
文部省國民教育局長 阿原 謙藏君
軍需政務次官 松村 光三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
現役青年學校職員俸給費國庫補助法
案(政府提出 貴族院送付)
○村松委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス——最上政三君

○最上委員 私人時間ノ關係上二三點
ヅツ總メテ要項デケテ御聽キシマスガ
ラ、政府委員モ簡單ニ要項デケテ御答
ヘ願ヒタイノデアリマス、一般問題ト
シテ、現在大日本青少年團、又學校報
國隊、海洋少年團等ヲ文部省ニ於テハ

單一化セントスルヤウナ試ミガアツテ、
既ニ二宮文相ハ關係省トノ間ニ折衝セ
ラレ、實ハ昨年はガ具體的發表ニナル
管デアリマスガ、未ダニ發表アリマ
セス、是ハ聞ク所ニ依ルト、勅令ニ依
ル所ノ團體法ヲ作ツテ、大政翼賛會等
ヨリ分離シテ、文部省獨特ノ一大青少
年團體ヲ作ルヤウナコトデアリマスガ、
之ニ付テ第一ニ御答ヘ願ヒタイノデア
リマス

第二點ハ、是ハ先般ノ議會デ私ガ質
問致シマシタガ、大東亞各地ヨリ集マ
レル留學生諸君ハ、昨年ノ學徒勤勞動
員ノ結果トシテ、殆ト學業ニ就クコト
ガ出來ナイト云フヤウナ現狀デアリマ
ス、聞ク所ニ依ルト、政府ハ是等留學生
ヲ或ル地方ニ集メテ集團教育ヲナスベ
ク、既ニ豫算ヲ計上シタサウデアリマ
スガ、是ガ内容等ニ付テ具體的ニ說明
ヲ願ヒタイノデアリマス

○今井政府委員 最上君ノ御質問ニ御
答ヘ致シマス、青少年團ノコトハ、今
ノ狀態ニ於キマシテハ大政翼賛會ヲ通
ジテ文部大臣ノ監督ノ下ニ置カレテ居
ルノデアリマスガ、之ヲ運用スル上ニ
於キマシテハ色々不便モアリマシテ、
出來得ルナラバ、只今御指摘サレマシ
タ海洋少年團ト云フヤウナモノヲ大キ
ク統合致シマシテ、所謂青少年ノ總力
ヲ結集致シマシテ、此ノ戰局ノ打開ニ
善利用シタイト考ヘテ居リマス、何分
範圍ガ非常ニ廣クアリマシテ、各方面
ト折角折衝中デアリマスガ、マダ具體
的ニ此處デ申上ゲル程度ニ是ガ行ツテ
居リマセヌ、成ベク急イデ成案ヲ得

テ、之ヲ實行スルヤウニ致シタイト考
ヘテ居リマス
第二ノ留學生ノ問題デアリマスガ、
是ハ最上委員カラ御話ノアリマシタ通
リ、學徒ノ通年勤勞員其ノ他ノ關係カラ、
學校ニ於テ授業ガ十分ニ出來ナイ所モ
相當アリマス、之ヲ或ル場所ニ集メテ
サウシテ完全ナ教育ヲスルヤウニ致シ
タイ、又其處ニ相當ノ學徒ガアリマシ
テモ、空襲等ノ被害カラ之ヲ避ケシメル
爲ニハ、ヤハリ適當ナ所ニ移ツタ方ガ
宜カラウト云フノデ、是モ大體ノ成案
ハ得テ居リマスガ、是モヤハリ他省ト
打合セヲシナケレバナラスモノモアリ
マス、其ノ爲ニ今此ノ全部ヲ發表スル
譯ニハ參リマセヌガ、三月ノ學期更新
期マデニハ、之ヲ決定致シタイト考ヘ
テ居リマス

○最上委員 次ニ第三點トシテ御伺ヒ
致シタイト思ヒマスガ、政府ハ昨年ノ
春、女子教育ヲ戰時機構ニ改メマシテ、
其ノ結果トシテ、女子專門學校ノ種別
十三種ニ統制シタコトハ御承知デアリ
マセウ、其ノ結果トシテ、將來女子高
工デアルトカ、高農デアルトカ云フヤ
ウナモノモ設置サレルヤウナ意味ニモ
取レマスガ、新年度ニ於テ何等カ其ノ
計畫ノ現ハレデモアリマセウカ、又新
年度ヨリ新タニ設置サレル男子、女子
ノ專門學校等ハ其ノ數々デアリマスカ、
又箇所ハ何處々デアリマスカ、
之ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○永井政府委員 女子ノ農業專門學校
ヲ作ルト云フコトハ、原則的ニ申セバ、
今日ノ時勢ニ於キマシテハ洵ニ結構ナ
コトダト思ヒマシテ、昨年も申上ゲマシ
タヤウニ、其ノ方向ノ方針ヲ文部省ト
シテハ執ツテ居リマス、具體的ニ今年
是等ノ學校ガ新設サレルカドウカト云
フ點ニ付キマシテハ、官立トシテハ新
設致シマセヌ、私立等ニ於テ是ノ出願
ガアリマシタ場合ニ之ヲ許可スルカ
ドウカト云フコトニ付キマシテハ、目
下該當ノ事項モアリマシテ、當局トシ
テハ其ノ内容ニ付テ鋭意調査研究ヲ致
シテ居リマス、只今ノ所認可ノ可否ニ
付テ申上ゲル時期ニハ達シテ居リマセ
ヌ、一般ニ新年度ニ新タニ出來マス專
門學校ハ、官立デ申シマスト鳥取縣ニ
醫學專門學校ガ一校、德島ノ縣立醫學
專門學校ガ官立ニ移管ニナリマスモノ
ガ一校、男子高等師範學校ヲ岡崎ニ作
ル豫定ノモノガ一校、女子ノ高等師範
學校ヲ廣島ニ作ル豫定ノモノガ一校、
官立ニ付キマシテハ移管ヲ合セテ以
上四ツデアリマス

○最上委員 今回行ハレタ試驗ニ付テ、
今回三期ニ互ツテ一期、二期、三期ノ
試驗ヲスルコトトナツタノデアリマス
ガ、一期試驗ニ受験シタ、特ニ勤勞學
生ノ意向ヲ聽キマス、政府ガ當初試
驗方法ニ付テ色々申サレタ點ト餘程違
ツテ居ル、特ニ口答試驗ニ於テサウデ
アリ、筆答試驗ニ於テモ普通ノ學科試
驗ト同ジ程度ノ難カシイモノガアツテ
我々ハ困ツタ、隨テ第二期、第三期モ
既ニ近イノデアリマスカラ、第二期、
第三期ヲ受ケル者ハ重要生産工場ヲ休
ンデマデ試驗勉強ヲシナケレバナラス
ト云フ風ナコトデアリマスガ、左様ナ

試驗ヲシタノデセウカ、之ニ付テ御伺
ヒシタイ
○永井政府委員 先般同様ノ問題ニ付
テ此ノ委員會デ高城委員カラ、先般行
ハレタ第一期ノ官立學校ノ入學試驗ノ
問題ヲ見ルト、餘リニ易シ過ギテ、ア
レデハ科學教育ト云フ點カラ言ツテ聊
カ物足ラナサ過ギハシナイカト云フ御
所見ガアリマシタ、其ノ時私ヨリ、當初
カラ宣言ヲ致シテ居リマシタ學科ニ互
ラナイ洵ニ平易ナ問題デ、唯高等專門
學校ノ教育ヲ受ケルニ足ル素質アリヤ
否ヤノ程度ヲ見ルト云フ點ニ於キマシ
テ、私ハ只今當面ノ責任ニナイケレド
モ、最近其ノ問題ヲ見タ時ニ、實ハ宣
言通りニ參ツテ居ルモノダト思フト云
フ所見モ、併セテ申述ベタヤウナ次第
デアリマシテ、只今最上委員カラハ受
驗者ノ聲トシテ、アレハ餘リ難カシ
過ギタト云フヤウナ御所見ヲ御取次願
ツタノデアリマスガ、私ハ高城委員ニ
申上ゲタト同ジヤウナコトヲ、逆ノ御
質問デアリマスガ、ヤハリ申上ゲルヨ
リ外ハナイカト考ヘテ居リマス

○最上委員 能ク分リマシタ、是ハ色
色學生ニ依ツテ違フノデアリマセウガ、
我々ノ聞イタ所デハサウデアリマス、
次ニ近ク行ハレル中學校ノ試驗ニ付テ
モ、ヤハリサウ云フヤウナ常識判斷ニ
依ツテ行ハレルノデアリマスカ
○永井政府委員 中學校ニ於キマスノ
ハ國民教育局カラ御答ヘ申スノガ宜
イカト思ヒマスガ、今ノ專門學校ノモ
ノヨリズツト碎ケタ銓衡方法ドラウト
思ヒマス

○永井政府委員 先般同様ノ問題ニ付
テ此ノ委員會デ高城委員カラ、先般行
ハレタ第一期ノ官立學校ノ入學試驗ノ
問題ヲ見ルト、餘リニ易シ過ギテ、ア
レデハ科學教育ト云フ點カラ言ツテ聊
カ物足ラナサ過ギハシナイカト云フ御
所見ガアリマシタ、其ノ時私ヨリ、當初
カラ宣言ヲ致シテ居リマシタ學科ニ互
ラナイ洵ニ平易ナ問題デ、唯高等專門
學校ノ教育ヲ受ケルニ足ル素質アリヤ
否ヤノ程度ヲ見ルト云フ點ニ於キマシ
テ、私ハ只今當面ノ責任ニナイケレド
モ、最近其ノ問題ヲ見タ時ニ、實ハ宣
言通りニ參ツテ居ルモノダト思フト云
フ所見モ、併セテ申述ベタヤウナ次第
デアリマシテ、只今最上委員カラハ受
驗者ノ聲トシテ、アレハ餘リ難カシ
過ギタト云フヤウナ御所見ヲ御取次願
ツタノデアリマスガ、私ハ高城委員ニ
申上ゲタト同ジヤウナコトヲ、逆ノ御
質問デアリマスガ、ヤハリ申上ゲルヨ
リ外ハナイカト考ヘテ居リマス

○最上委員 能ク分リマシタ、是ハ色
色學生ニ依ツテ違フノデアリマセウガ、
我々ノ聞イタ所デハサウデアリマス、
次ニ近ク行ハレル中學校ノ試驗ニ付テ
モ、ヤハリサウ云フヤウナ常識判斷ニ
依ツテ行ハレルノデアリマスカ
○永井政府委員 中學校ニ於キマスノ
ハ國民教育局カラ御答ヘ申スノガ宜
イカト思ヒマスガ、今ノ專門學校ノモ
ノヨリズツト碎ケタ銓衡方法ドラウト
思ヒマス

○永井政府委員 先般同様ノ問題ニ付
テ此ノ委員會デ高城委員カラ、先般行
ハレタ第一期ノ官立學校ノ入學試驗ノ
問題ヲ見ルト、餘リニ易シ過ギテ、ア
レデハ科學教育ト云フ點カラ言ツテ聊
カ物足ラナサ過ギハシナイカト云フ御
所見ガアリマシタ、其ノ時私ヨリ、當初
カラ宣言ヲ致シテ居リマシタ學科ニ互
ラナイ洵ニ平易ナ問題デ、唯高等專門
學校ノ教育ヲ受ケルニ足ル素質アリヤ
否ヤノ程度ヲ見ルト云フ點ニ於キマシ
テ、私ハ只今當面ノ責任ニナイケレド
モ、最近其ノ問題ヲ見タ時ニ、實ハ宣
言通りニ參ツテ居ルモノダト思フト云
フ所見モ、併セテ申述ベタヤウナ次第
デアリマシテ、只今最上委員カラハ受
驗者ノ聲トシテ、アレハ餘リ難カシ
過ギタト云フヤウナ御所見ヲ御取次願
ツタノデアリマスガ、私ハ高城委員ニ
申上ゲタト同ジヤウナコトヲ、逆ノ御
質問デアリマスガ、ヤハリ申上ゲルヨ
リ外ハナイカト考ヘテ居リマス

○最上委員 教科書ハ昨年來其ノ配給ガ少イノデ、各方面ノ學校デ教授上非常ナ支障ヲ來シテ居リマス、是等ハ勿論資料、輸送、印刷等ノ關係ガアリマセウガ、來年度ノ配給ニ付テハ如何ナル對策ガ講ゼラレテ居リマスカ、又今マデハ東京一箇所デ印刷シテ居リマシタガ、之ヲ分散シテ印刷スル方途ガアリマスカ、御伺ヒ致シマス

○阿原政府委員 附設科ノ名稱ハ、學校令ニ依リマシテ、中等學校ニ於キマシテハ、實務科、高等女學校並ニ實業學校ニ於キマシテハ、専攻科ト云フ名稱ヲ附セサセタイト思ツテ居リマス、其處ヲ修シタ者ニ對シテハ修了證書ヲ出スコトニナツテ居リマス、授業料ハ徴收スルト云フコトニ決マシテ通牒ヲ出シテ居リマス

○最上委員 各府縣ニ通知シタ要綱ニ依レバ、附設科ニ入ル學生ハ、自分ノ希望ニ依ツテ、或ハ自分ノ近處ノ工場ナドニ配置ノ變更ガ出來ルヤウデアリマスガ、是ハ一應出來ルヤウニ規定サレテ居リマシテモ中々ヤラナイノデアリマスカラ、新聞等ニ依ルト、轉換ガ出來ルト云フヤウナコトヲ通牒ニ依ツテ發セラレタ結果トシテ、動トモスル學徒ノ中ニ於テハ、其ノ際自分達ハ近クノ方、或ハ官公署ナリニ配置ガ轉換サレルヤウニモ考ヘラレル向キモアリマセウガ、此ノ點ハドウデアリマセウカ、伺ヒタイノデアリマス

○永井政府委員 附設課程ニ入リマシタ者ニ對シテハ、授業料ハ徴ルノデゴザイマス、尤モ是等附設課程ニ入リマシタ者ニ對スル學徒ノ報償ハ、從來ハ中等學校ノ側ノ男デ五十圓デアッタノガ、附設課程ニ入リマシタノハ、專門學校並ノ月六十圓ニナツテ、ソレニ特別報償トシテモ十圓附キマスカラ、七十圓ニナル譯デアリマス、ソレデ授業料ハ徴リマススケレドモ、從來ノ五十圓ノ所ガ七十圓ノ報償ニナリマスノデ、十分コナシ切レテ、授業料トシテモドンナニ高クテモ十圓ハ出マセヌ、ソレカラ適性配置ノコトニ付テ御話ガゴザイマシタ、是ハヤハリ出來ル限リ機會ヲ見テ適性配置ヲ致シタイト思ヒ

○永井政府委員 御尤モノコトデアリマシテ、ソレ等ニ付テハ何等カノ方途ヲ考ヘタイト、目下鋭意考究中デゴザイマス

○最上委員 其ノ他學徒、兒童ノ遭難、某小學校ノ如クニ兒童ノ登校中ノ遭難デアルトカ、又學徒動員ガ事故故其ノ他ニ依ツテ殉職セラレタ場合ハ、相當ノ待遇ガアルト思フノデアリマスガ、是等ニ付テハドウ云フヤウナ待遇ヲスルノデアリマスカ、伺ヒタイ

○永井政府委員 學徒勤務中ノ者ニ對シマシテノ物質的ナ問題ニ付キマシテハ、動員學徒保護會ヲ目下設立準備中デゴザイマシテ、是ガ出來タ時ニ於キマシテハ相當ノコトヲ致シタイト思ツテ居リマス、國民學校ノ學童等デ登校ノ途中爆死ヲ致シタモノ、又ハ授業中ニ爆死ヲ致シタモノニ對シテドウスルガト云フコトニ付キマシテハ、是ハ各府縣ニ於テモソレソレノ處置ヲ講ジテ居リマスガ、國トシテドウスベキカト云フコトニ付キマシテハ、是レ亦成案ヲ得テ居リマセヌ、是モ目下鋭意考究中ノ所デゴザイマス

○最上委員 實ハ之ニ付テハ色々議論ヲサレテ居リマス、成ベク是等モヤツテ貰ハスト、他省ハ發令シテ居ル、文部省ハ檢討中デアルト云フノハ生緩イデスカラ、ドシクヤツテ貰ヒタイ、ソレカラ學徒動員中ノ者ガ學業半バニシテ殉職等ヲセラレタ場合ニ於テ、卒業證書等ハ下付セラレルヤウナ御考ヘガアリマスカ、又實際ドウヤツテ居リマスカ、三年又ハ二年位殉職セラレタト云フ場合ニ於テハ、卒業シタト云フヤウナ資格ヲ與ヘルカドウカ、是等モ與ヘテ貰ヒタイト思フノデアリマスガ、當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○永井政府委員 ソレハ事實何時ノ時ニサウ云フヤウナ殉職ガアツタカト云フ問題デゴザイマシテ、大體モ卒業ヲ相當目ノ前ニ控ヘテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、勿論サウ云フ處置ヲ致シマスガ、入ツタバカリノ者ニ對シテ、卒業ト云フ處置ヲ執ルノハ行過ギテ居ルノデハナイカト思ツテ居リマスガ、只今ハサウ云フ處置ヲ致シテ居リマセヌ、御話ニ從ツテ又其ノ點ハ更ニ考究致シタイト思ヒマス

○最上委員 國民學校ノ教員並ニ其ノ他ノ各種學校ノ教職員ニ對スル待遇問題ハ屢々論ゼラレタヤウニ、他官廳ニ比シ至ツテ惡イコトハ今更申スマデモナイ、是等ニ付テ近ク何等カ増俸等ノ考ヘガアルカ、又手當等モ増給ノ考ヘガアルカ、精神方面ニ於テモ委任官待遇ヲ增加スルトカ、或ハ開カ所ニ依ルト、中等學校ノ校長デ優秀者ヲ勸任待遇ニスルトノコトデアルガ、是等ニ付テ伺ヒタイ

○阿原政府委員 國民學校ノ先生ノ待遇問題ニ付キマシテハ、一昨年來師範學校令ノ改正ニ伴ヒマシテ、待遇ノ向上ヲ圖ツテ居リマスルガ、之ニ付キマシテハ今後モ此ノ線ノ沿ウテ待遇ノ向上ニ努メテ行キタイト考ヘテ居リマス、各地方ニ於キマシテモ、段々其ノ實ガ擧ガルヤウニ存ジテ居リマス、尙ホ國民學校ノ先生並ニ中等學校ノ先生ノ精神上ノ待遇ニ付キマシテハ、大體成案ヲ得マシタノデ、現在關係方面ト折衝ヲ續ケテ居リマスガ、色々是ハ研究ヲ要スル問題モゴザイマスノデ、成ベク急イデ居リマスルガ、十分ナル折衝ヲ俟チマシテ、其ノ實現ヲ期スルヤウニ努力致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○最上委員 中等學校長ノ優秀者ヲ勸

○阿原政府委員 教科書ニ付キマシテハ資料、輸送、色々關係デ昨年ハ大變遷レテ申シタイト考ヘテ居リマス、本年ハ編纂モ既ニ終リ現在著々製造シテ居リマシテ、出來ルダケ期限ニ間ニ合ハセルヤウニ努力致シテ居リマス、併シ資料、輸送ノ點ニ於キマシテ、昨年以上ニ窮屈ニナツテ居リマスノデ、其ノ點ヲ私共非常ニ現在懸念致シテ居リマスガ、出來ルダケ努力致シタイト思ツテ居リマス、尙ホ教科書製造ノ分散ニ付キマシテハ、特ニ輸送關係困難ヲ來スベキ朝鮮並ニ滿洲ニ付テハ、製造ヲ委託シ、一部同フデ製造シテ居リマシテ、昭和二十年度カラ使用サセルト云フ方針ヲ執リマシタガ、内地ニ付テハサウ云フ考ヘハ持ツテ居リマセヌ

○最上委員 本年ノ中等學校卒業業者デ、上級學校ニ入學スルモノハ、或ハ農業學校、工業學校ト云フ特定ノモノヲ除キテ、附設課程ニ續イテ工場勤務ニ從事セシメルト云フコトデアリマシテ、新タニ一年間附設科ニ入ルノデアリマスガ、附設科ノ名稱ハ、實務トカ、専攻トカ、ドウ云フ風ニ附ケルノデアリマスカ、又ソレ等ノ卒業業者ニ對シテハ修業證書ヲ出スノデアリマスカ、或ハ授業料ハドレ位徴ルノデアリマスカ、御伺ヒ致シマス

○永井政府委員 附設課程ニ入リマシタ者ニ對シテハ、授業料ハ徴ルノデゴザイマス、尤モ是等附設課程ニ入リマシタ者ニ對スル學徒ノ報償ハ、從來ハ中等學校ノ側ノ男デ五十圓デアッタノガ、附設課程ニ入リマシタノハ、專門學校並ノ月六十圓ニナツテ、ソレニ特別報償トシテモ十圓附キマスカラ、七十圓ニナル譯デアリマス、ソレデ授業料ハ徴リマススケレドモ、從來ノ五十圓ノ所ガ七十圓ノ報償ニナリマスノデ、十分コナシ切レテ、授業料トシテモドンナニ高クテモ十圓ハ出マセヌ、ソレカラ適性配置ノコトニ付テ御話ガゴザイマシタ、是ハヤハリ出來ル限リ機會ヲ見テ適性配置ヲ致シタイト思ヒ

○永井政府委員 理工科系ノ方ハ七月カラ九月マデノ三箇月間ニ最後ノ仕上教育ヲ行フ積リデアリマス、理工科系以外ノ文科系統ノ方ニ付キマシテハ、只今サウ云フ豫定ヲ持ツテ居リマセヌ

○最上委員 次ハ先日ノ空襲等ニ依ツテ殉職セル鐵道職員ハ、ソレノ位ニ階級其ノ他ノ進級ノ手續ニ依ツテ、特別措置ガ執ラレテ居ルノデアリマス、是ハ戰時下尤モデアリマスガ、聞カ所ニ依ルト教職員中ニモ少數ノ殉職者ガ出ラレタサウデアリマス、是等ニ對シテ文部省ハ鐵道ノ例其ノ他ノ例ニ依ツテ、何等カ特別待遇ヲスルヤウナ御考慮デモアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイ

○永井政府委員 御尤モノコトデアリマシテ、ソレ等ニ付テハ何等カノ方途ヲ考ヘタイト、目下鋭意考究中デゴザイマス

○最上委員 其ノ他學徒、兒童ノ遭難、某小學校ノ如クニ兒童ノ登校中ノ遭難デアルトカ、又學徒動員ガ事故故其ノ他ニ依ツテ殉職セラレタ場合ハ、相當ノ待遇ガアルト思フノデアリマスガ、是等ニ付テハドウ云フヤウナ待遇ヲスルノデアリマスカ、伺ヒタイ

○永井政府委員 學徒勤務中ノ者ニ對シマシテノ物質的ナ問題ニ付キマシテハ、動員學徒保護會ヲ目下設立準備中デゴザイマシテ、是ガ出來タ時ニ於キマシテハ相當ノコトヲ致シタイト思ツテ居リマス、國民學校ノ學童等デ登校ノ途中爆死ヲ致シタモノ、又ハ授業中ニ爆死ヲ致シタモノニ對シテドウスルガト云フコトニ付キマシテハ、是ハ各府縣ニ於テモソレソレノ處置ヲ講ジテ居リマスガ、國トシテドウスベキカト云フコトニ付キマシテハ、是レ亦成案ヲ得テ居リマセヌ、是モ目下鋭意考究中ノ所デゴザイマス

○最上委員 實ハ之ニ付テハ色々議論ヲサレテ居リマス、成ベク是等モヤツテ貰ハスト、他省ハ發令シテ居ル、文部省ハ檢討中デアルト云フノハ生緩イデスカラ、ドシクヤツテ貰ヒタイ、ソレカラ學徒動員中ノ者ガ學業半バニシテ殉職等ヲセラレタ場合ニ於テ、卒業證書等ハ下付セラレルヤウナ御考ヘガアリマスカ、又實際ドウヤツテ居リマスカ、三年又ハ二年位殉職セラレタト云フ場合ニ於テハ、卒業シタト云フヤウナ資格ヲ與ヘルカドウカ、是等モ與ヘテ貰ヒタイト思フノデアリマスガ、當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○永井政府委員 ソレハ事實何時ノ時ニサウ云フヤウナ殉職ガアツタカト云フ問題デゴザイマシテ、大體モ卒業ヲ相當目ノ前ニ控ヘテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、勿論サウ云フ處置ヲ致シマスガ、入ツタバカリノ者ニ對シテ、卒業ト云フ處置ヲ執ルノハ行過ギテ居ルノデハナイカト思ツテ居リマスガ、只今ハサウ云フ處置ヲ致シテ居リマセヌ、御話ニ從ツテ又其ノ點ハ更ニ考究致シタイト思ヒマス

○最上委員 國民學校ノ教員並ニ其ノ他ノ各種學校ノ教職員ニ對スル待遇問題ハ屢々論ゼラレタヤウニ、他官廳ニ比シ至ツテ惡イコトハ今更申スマデモナイ、是等ニ付テ近ク何等カ増俸等ノ考ヘガアルカ、又手當等モ増給ノ考ヘガアルカ、精神方面ニ於テモ委任官待遇ヲ增加スルトカ、或ハ開カ所ニ依ルト、中等學校ノ校長デ優秀者ヲ勸任待遇ニスルトノコトデアルガ、是等ニ付テ伺ヒタイ

○阿原政府委員 國民學校ノ先生ノ待遇問題ニ付キマシテハ、一昨年來師範學校令ノ改正ニ伴ヒマシテ、待遇ノ向上ヲ圖ツテ居リマスルガ、之ニ付キマシテハ今後モ此ノ線ノ沿ウテ待遇ノ向上ニ努メテ行キタイト考ヘテ居リマス、各地方ニ於キマシテモ、段々其ノ實ガ擧ガルヤウニ存ジテ居リマス、尙ホ國民學校ノ先生並ニ中等學校ノ先生ノ精神上ノ待遇ニ付キマシテハ、大體成案ヲ得マシタノデ、現在關係方面ト折衝ヲ續ケテ居リマスガ、色々是ハ研究ヲ要スル問題モゴザイマスノデ、成ベク急イデ居リマスルガ、十分ナル折衝ヲ俟チマシテ、其ノ實現ヲ期スルヤウニ努力致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○最上委員 中等學校長ノ優秀者ヲ勸

任待遇ニスルノモ、大體決定シテ居ラ
レマセウカ

○阿原政府委員 サウ云フ風ニ致シタ
イト思ツテ、今折角努力ハ致シテ居リ
マス

○最上委員 文部省ノ一般問題ハマダ
アリマスガ、是デ打切リマス、文部省
並ニ厚生省、軍需省ニ關係シテ二三伺
ヒタイノデアリマスガ、學徒報國隊ノ
報償ノコトデアリマス、是ハ他ノ委員
會ニ於テモ同ツテ居ルヤウデアリマス
ガ、最近是等ノコトハ各方面ニ於テ叫
バレテ居リマスガ、勿論學徒諸君ニ於
テハ報償金等ヲ目的トスルモノデハナ
イ、物質的ニ何等意ニ介スルモノデハ
ナイガ、サリトテ多少ノ是等ノ問題ニ
付テモ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌト思
フノデアリマス、文部當局並ニ軍需兩
省ニ於テハ、報償金ヲ從來ハ男子、大
學ハ七十圓五十錢、專門學校ガ六十圓、
中學ガ四十五圓九十錢、女子ガ專門學
校ガ五十二圓五十錢、中等學校ガ四十
圓五十錢デアリマス、之ヲ十圓内
外引上ゲルト云フヤウナコトニ決定シ
タト云フコトデアリマスガ、是ハ如何
デアリマセウカ

○永井政府委員 學徒ノ報償基準額ヲ
多少引上ゲルト云フコトニ付キマシテ
ハ、文部省ト致シマシテモ希望ヲ持ツ
テ居リマスガ、併シ又御話ノ如ク關係
各省ノ協議ガ纏マツテ居ルト云フコト
ニハ至ツテ居ラナイノデアリマス

○最上委員 軍需省ハ如何デスカ
○松村政府委員 只今文部省カラ御答
ヘ申シタ通りデアリマシテ、大體文部
省ノ方ト能ク協議致シマシテ、御趣旨
ノアル所ハ色々協議ヲシテ行ク積リ
デアリマス

○最上委員 更ニ物質方面デアリマス

○最上委員 當局ニ於テハ夜間中學校

ガ、學徒勤報隊ニ對スル食糧ノ問題デ
アリマスガ、是ハ他ノ重労働者ニ對シ
テハ各府縣トモ一合乃至二合位ノ加配
米ガアルノデアリマス、聞ク所ニ依ル
ト各府縣ニ依ツテ多少違フガ、學徒ニ
對シテ縣當局ニ於テハ支給スルト云フ
コトハ言ツテ居ルガ、中々加配米ヲシ
テ居ラナイ、是ガ爲ニ非常ニ勤勞中他
ノ職工ニ比ベテ食糧不足デ困ツテ居ル
者ガアリマス、之ニ付テ文部及軍需當
局ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレカ
第二點ハ作業衣ノ問題デアリマス、
是レ亦知事ハ配給スルト云フヤウナコ
トヲ曾テ學徒勤報隊員諸君ニ訓諭シ、
又挨拶ハシテ居ルガ、中々渡ラナイ、
中ニハ渡ツタ者ハアルガ、全般的ニハ
渡リガ少イト云フ傾向ガアリマスガ、
斯ウ云フヤウナ機會ニ食糧問題、作業
衣問題ニ付テ政府ハドウ云フヤウナ方
途ヲ以テ地方長官ト打合ハセシテ居ル
カ、ハツキリ御言明願ヒタイノデアリ
マス

○永井政府委員 食糧問題ニ付キマシ
テハ、學徒ノ勤勞先ノ労働ノ種類ニ依
リマシテ加配米ヲ受ケテ居ルノデアリ
マスガ、併シ御話ノ如クニ、府縣ニ依
リマシテ一般工員トノ均衡ト云フモノ
ガ取レナイ所モアルヤウデゴザイマシ
テ、左様ナコトハ全ク御話ノ如ク面白
クナイコトデゴザイマス、之ニ付キ
マシテハ、色々交渉モシ指示モ致シ
テ居リマス、漸次左様ナ状態ハナ
クナツテ參ルコトト思ヒマス、作業衣
ノ問題ニ付キマシテハ洵ニ御尤モデゴ
ザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ目下
農商當局ト交渉中デゴザイマシテ、多
少ノ望ミヲ持テ得ルカト思ツテ居リマ
ス

高等專門學校ノ勤勞ヲスルト云フヤウ
ナ決定ヲシタト云フコトデアリマスガ、
是等ニハ官公署、會社等ノ勤勞者ガ多
イノデアリマス、ケレドモ、ドウ云フヤ
ウナ方法デアルカ、御分リデアリマシ
タナラバ聽キタイノデアリマス

○永井政府委員 夜間學校ノ生徒ノ中
ニ於キマシテモ、中ニハ晝間勤勞メテ居
ラナイ、或ハ重要就業科目デナイ所ニ
勤メテ居ルト云フヤウナ者モ尙ホアル
ノデゴザイマシテ、是等ハ全部勤勞ヲ
致スト云フコトニシテ居リマスガ、晝
間禁止種目デナイ重要就業ニ從事シテ
居リマスル夜間學校ノ學徒ハ、是ハ晝
間或ル程度ノ勉強ヲ致サセテ居ル狀況
デゴザイマス

○最上委員 マダ色々アリマスガ疎開
問題ニ付テハ、三御伺ヒ致シタイと思
ヒマス、新年度ノ疎開兒童ハ本年度ヨ
リ増加スル見込デアルカドウカ、又靜
岡トカ其ノ他空襲ガ東京ヨリ頻繁ナ危
險地域ニアル疎開兒童ヲ他ニ移轉スル
ヤウナ考ヘガアルカ、之ニ付テ一ツ伺
ヒタイ

○阿原政府委員 二十年度ニ於キマシ
テ疎開學童ガ殖エルカドウカト云フコ
トニ付キマシテハ、現下ノ情勢カラ判斷
致シマシテ、私共ハ増加スルノデハナ
イカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙又現
在ノ疎開シテ居ル先ニ於キマシテ軍ノ
防衛ノ關係トカ、色々ノ關係デ再配置
ヲ要スルヤウナ所ガアル場合ニ於キマ
シテハ、是ハ連絡ヲ取リマシテ再配置
ヲ致サシメタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス、尙又集團疎開ヲ實施致シマス當初
ニ於キマシテ、多少サウ云フ方面ノ考
慮モ致シマシテ、例ヘテ申スナラバ、
ノ南部デアルトカ、ノ南部デア
ルトカ、サウ云フ地域ハ特ニ疎開ヲ避ケ

マシテ、實施ヲ致シテ來テ居リマス、
尙又軍ノ施設等ノ關係デ再配置ヲ致シ
タモノガ、例ヘバ、附近ニモ若干アル
ヤウニ聞イテ居リマス、サウ云フ點ニ
付キマシテハ今後モ十分方面ト折衝
ヲ致シマシテ、必要ガ起レバ再配置ヲ
致シタイ、斯様ニ考ヘテ進ンデ居リマ
スカラ御諒承ヲ願ヒマス

○最上委員 疎開兒童ノ中等學校ヘ
ノ進學問題デアリマス、發表ニ依レバ
疎開側學校又ハ疎開先ノ學校デモ受驗
出來ルト云フコトニナルト、兩方ノ學
校ニ受驗シタイト云フ者ガ出來ルダラ
ウト思ヒマスガ、疎開地デ試驗ヲ受ケ、
其ノ地方ノ中等學校ニ入學シタイト云
フ場合ニ、他日疎開側、東京ナラバ東京
ノ希望シタ學校ニ轉校ガ出來ルカドウ
カ、其ノ點ヲ一寸御聽キシタイと思ヒ
マス

○阿原政府委員 國民學校ヲ卒業致シ
マシテ上級學校ニ進ム者ニ付キマシテ
ハ、只今ノ所ドチラデモ本人ノ希望ニ
依ツテ入學ヲ認メルコトニ致シテ居リ
マス、現在試驗ハ片方シカ受ケラレマ
セス、ソレカラ疎開先デ入學シマシ
タ者ガ元居リマシタ住所附近ノ中等
學校ニ入ルト云フ場合ニ於キマシテハ、
一般ノ轉校ノ場合ト同ジコトニナル
デヤナイカト思ヒマスガ、是ハ唯一般
ノ轉校ノ場合ト違ツテ、特殊ノ事情ニ
依ツテ疎開先デ入學シタト云フ關係モ
アリマス、若シ元ノ住所ノ附近ノ
中等學校ノ方デ、事情ガ許スナラバ、サ
ウ云フ場合ニ於テハ優先的ニ考ヘテ、宜
イデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、
是ハ新シイ例デアリマスガ、從來疎開
都市ノ中等學校ニ入ツテ居ツタ者ガ、地
方ノ疎開先ノ中等學校ニ轉校致シタ場
合、此ノ者ガ戻ツテ來ル例モ若干アツ

タノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キ
マシテモ學校ノ事情ノ許ス場合ニ於キ
マシテ、出來得ル限り元ノ學校ニ復歸
セシメテ居リマスガ、只今申シマシタ
疎開先デ入學致シマシテ、サウシテ元
居ツタ土地ノ近クノ中等學校ニ戻リタ
イト云フ場合ニ於キマシテハ、轉校ト
同ジヤウナ取扱ヒデ考ヘテ行キタイト
存ジテ居リマス

○最上委員 例ヘテ言フト、自分ノ希望
スル良イ中學校ナラ中學校ヘ轉校ガ出
來ルカドウカ、ソレカラ疎開地ノ或ル
地方ノ中等學校ニ於テハ、疎開學童ノ
入學ニ對シテ、定員ヲ置カナイデ定員外
ニシテ置クト、地方ノ學童ハ今マデノ
百五十人ナラ百五十人ノ定員以外ハ入
レナイケレドモ、疎開學童ハ定員外デ
入校サセルカ、出來ナイ者デモ幾ラ
デモ入レルト云フコトニナリマスガ、
サウスルト志願者ハ成績等ハ考慮サレ
マセウガ、大部分ハ入レルト云フヤウ
ニ考ヘテモ宜イデアリマセウカ

○阿原政府委員 大分地方ニ疎開兒童
ガ行ツテ居ル關係デ、各地方トモ中等學
校ノ定員ノ増加ト云フコトヲ要求シテ
參ツテ居リマス、之ニ付キマシテハ地
方ノ實情ニ照ラシマシテ至急ニ學級増
加ノ處置ヲ執リマシテ、出來ルダケ地
方ニ於テ收容サスルコト云フヤウナ方針デ
行キタイト思ツテ居リマス

○最上委員 ソレカラサウ云フヤウナ
者ガ、東京ナラ東京ノ自分ノ住ンデ居
タ所ヘ歸ツテ來タト云フ場合ニ於テ、
コチラガ定員等ニ依ツテソレヲ認メナ
イコトガアリマセウカ、
○阿原政府委員 原則トシテハ轉校ヲ
認メテ居リマスガ、ソレハ其ノ場合ノ
狀況ニ依ルト思ヒマス
○最上委員 最後ニ軍需省ノ政府委員

ニ御伺ヒシマスガ、學徒連年動員ガ實
施セラレテヨリ茲ニ既ニ一箇年ニ垂ン
トスルノデアリマス、其ノ間我ガ生産
陣ニ是等學徒ガ努力奮闘セラレテ居ル
コトハ多大デアツテ、我々ハ是等學徒
ニ對シテ出陣學徒ト同ジクソレ以上ノ
敬意ヲ以テ國民ハ感謝シナケレバナラ
ヌノデアリマス、然ルニ其ノ後は等學
徒ノ狀況ニ付テ世間ニハ餘リ成績等ニ
付テモ知レ渡ラナイヤウナ憾ミガアル
ノデアリマシテ、是ハ甚ダ學徒諸君ノ
盡忠報國ノ精神ニ對シテ如何カト存ズ
ルノデアリマスガ、此ノ場合は等學徒
ノ過去一年間ニ於ケル努力奮闘ノ面ニ
於テ、其ノ能率ヲ如何ニ發揮シテ居ル
カ、或ハ其ノ創意工夫ガ如何ナル面ニ
現ハレテ居ルカ、又他ニ垂範スベキ幾
多ノ事項モアラウト思ハレマスガ、是
等ニ付テ軍需省當局ヨリ詳細ニ事實ヲ
伺フト共ニ、其ノ學徒勤勞報國隊ニ對
スル御感想ヲ述ベテ戴キタイと思ヒマ
ス

○松村政府委員 只今御尋ネノコトハ
多岐ニ亙ツテ居リマスガ、既ニ一箇年
間學徒動員ノ狀況ハ大體御承知ノ通り
デアリマシテ、大局カラ見マシテ物質
ヲ超越シテ非常ニ精神ノ行動ガ多イコ
トハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、
隨テ學徒ノ此ノ勤勞狀況ト云フモノハ
一般工員ニ或ル程度ノ顯著ナ影響ヲ及
ボシタコトモ事實デアリマス、ソコデ
先ヅ御尋ネノ能率ヤ其ノ外垂範ノナコ
トニ一體ドウ云フ事例ガアルカ、是ハ
枚舉ニ遑ガアリマセヌ、殊ニ過般ノ神
風隊其ノ他特攻隊ノ行動ト云フモノハ、
全國總テノ工員ガアレニ刺激サレマシ
テ、特殊ナ方面ニ、能率其ノ他ノ方面
ニ於テ影響ガ現ハレテ居ルコトモ顯著
ナ事實デアリマス、又學徒ハ各方面ニ

於テ幾多ノ事例ヲ示シテ居リマス、ア
ノ神風隊ノ行動以來、航空總局カラ例
「神風」ト云フ手拭ヲ全工員ニ配付シタ、
アレハ非常ニ全工員ヲ刺激シ、能率ノ
點ニ於テ非常ニ影響ヲ及ボシタノデア
リマス、一二ノ例ヲ申上ゲマスレバ、
例ヘバ男子ノ學徒ニ付キマシテハ――
ト云フ航空機ノ工場デアリマスガ、此
處ニ於テハ全従業員ノ二割カ一割強ガ
東京都下ノ商業學校ノ學徒デアリマス、
此ノ一割強ノ學徒ガ直チニ感奮致シ
マシテ、其ノ學徒ノ中ノ四十二名
ガ血書シテ連名ノ上ニ、受持教
師ニ申出タコトハ、從來ニ二部制デアツ
タモノヲ打續ケ一部制ニ直シテ貰ヒタ
イ――隨分是ハ長イ勤務時間デアリマ
シテ、朝ノ七時半カラ夜ノ九時半マデ
十二時間、連續勤務ヲ申出マシタ、其ノ
受持教師カラ會社ニ左様ナコトヲ申出
タノニ對シ、其ノ敢闘精神ガ全工員ニ
行渡リマシテ、此ノ全工員ガ學徒ニ刺
戟サレマシテ、全工員總テノ點ニ於テ
非常ナ效果ヲ擧ゲテ居ル事實ガアルノ
デアリマス、又女子ノ方ニ於キマシテ
モ――ト云フ工業會社ニ於テハ、是ハ
堀越ト云フ高女ノ學徒五十餘名デアリ
マスガ、此處デモ女子ガ血書致シマシ
テ、ソレニ基イテ全従業員ニ非常ナ刺
戟ヲ與ヘタト云フヤウニ、學徒ガ團體
的ニ斯様ナ行動ヲシタ事例ガ乏シクア
リマセヌ、更ニ個人ノ行動ニ至リマシ
テハ一々申上ゲルニ遑ガナイ程色々顯
著ナ事實ガ擧ツテ居リマス、斯ウ云フ
形デ學徒ガ全工員ニ刺激ヲ與ヘタ點ハ
少クナイト云フコトヲ概括的ニ結論ト
シテ申上ゲマス、但シ繰返シテ申上ゲ
マスガ、アノ神風特攻隊ノコトハ全工
員齊シクデアリマスケレドモ、學徒ノ
面ニ於テ左様ナコトモアツタト云フ一

二ノ事例ヲ擧ゲテ茲ニ顯著ナ例ヲ申上
ゲタノデアリマス、更ニ學徒ニ對シテ
何カ特ニ創意工夫ト云フヤウナ方面ガ
アツタカドウカト云フヤウナコトハ、
事技術、專門ニ互ル事柄ニモ關聯致シ
マスルカラ、中々難シイノデアリマス
ケレドモ、今顯著ナル二三ノ事例ヲ申
上ゲマスルト、是ハ名古屋ノ工業專門
學校ノ生徒デスガ、電氣科ノ服部ト云
フ一人ノ學生ガ、電氣ノ磁氣ノ接觸器
ニ於テ相當見ルベキ一ツノ考案創意ヲ
致シマシテ、是ガ爲ニ非常ナ能率ヲ擧
ゲテ居ルト云フノガ一ツ、更ニ横濱ノ
第三中學ノ學徒一名ガ「フライス」盤、
精密機械ノ工夫ヲ致シマシテ、此ノ工
夫ニ依ツテ能率ヲ上ゲルコトガ二割、
不良品ヲ防止スルコトガ三割五分ト云
フ非常ニ顯著ナ事實ヲ擧ゲテ居ルコト
モアリマス、又サウ云フ創意、工夫、
發見、發明ノ外ニモ色々作業上ノ指導
票ナドヲ整備シタコトニ依リマシテ、
是ガ全體ノ生産ノ能率ノ上ニ非常ナ改
善ヲ致シタト云フ事例モアリマス、申
上ゲルマデモナク、斯様ナ創意工夫、
發見發明ト云フヤウナコトハ、サウ短
日月ニナシ得ルコトデアリマセヌカ
ラ、斯ウ云フ事例ハサウ多クヲ求メル
コトハ困難デアリマスルケレドモ、只
今申シマシタ二、三ノ事例ニ依リマシ
テモ、學徒ガ短日月ノ間ニ斯ウ云フ創
意工夫ヲシテ、サウシテソレガ全體ノ
生産ノ上ニ少カラザル影響ヲ與ヘタ事實
モアルト云フコトヲ茲ニ申上ゲマシテ、
學徒ノ勤勞ト云フモノハ精神指導ノ面
ノミナラズ、左様ナ方面ニ於キマシテ
モ少カラザル效果ヲ擧ゲテ居ル、斯ウ
云フヤウナコトハヤハリ全工員ニ少カ
ラザル刺激ヲ與ヘテ居ルト云フ事實ヲ
申上ゲマシテ、御參考ニ供シタイト存

ジマス
○村松委員長 此ノ際三ツノ問題ニ
付テ政府ニ御尋ネヲ致シタイと思ヒマ
ス、學徒動員問題ニ關シテハ、連日ノ
質疑ノ結果、大體ハ明確ニセラレマシ
タ、其ノ中、第一ニ、配置轉換ニ關ス
ル問題、學校ト工場トノ地域的ノ緊密
化ノ問題、及ビ適性ニ付テ如何ニ配置
轉換ヲセラレルカ、其ノ計畫ノ大要及
ビ時期ヲ第一ニ明示セラレタイと思ヒ
マス
ソレカラ第二ハ、學徒動員ヲシテ行
學一致ノ實ヲ擧ゲシムル爲メ、軍需官
兼任ヲ教職員ノ中ヨリ任命シ、適當ナ
ル處置ヲ講ジヨウト云フ御計畫ガアル
トノコトデアリマスルガ、其ノ軍需官
兼任ノ權限及ビ何時之ヲ行フカ、是ハ
モウ從來カラ何回モ發表セラレテ居ル
ニ拘ラズ、未ダ是ノ實現ガ出來テ居リ
マセヌノデ、委員會ト致シマシテモ速
急ノ實現ヲ要求シテ居ル關係上、時期
ヲ明確ニセラレンコトヲ希望致シマ
ス

第三ノ問題ハ、青年學校ノ生徒ガ工
員中ニ非常ニ多クヲ占メテ居ル、此ノ
現狀ニ鑑ミマシテ、青年學校ノ生徒モ
一般學徒ト同ジヤウニ、學徒動員トシ
テ取扱フノガ適當デハナイカト云フ質
問ガアリマシタガ、之ニ對シテ當局ハ
何等カ具體的ノ御計畫ヲ御持チカドウ
カ、御持チナラバ之ヲ御發表願ヒタイ、
此ノ三ツノ點ニ付テ明確ニセラレンコ
トヲ希望致シマス
○今井政府委員 學徒ノ配置轉換ニ付
キマシテハ、先般豫算總會ニ於テモ申
上ゲマシタ通り、先ヅ此ノ學徒ノ進學
ノ時期及ビ其ノ工場ノ分散疎開之ヲ機
會ニ致シマシテ、或ル程度ノ配置轉換
ヲ行ヒタイと思ヒマス、其ノ配置轉換

ノ狙ヒ所ハ、學校デ習得致シマシタル
技術ヲ、成ベク其ノ工場ニ於テ應用ノ
出來ル方面ニ學徒ヲ轉換スル、又交通
ノ距離等モ參酌致シマシテ、適當ナ配
置ヲ行ヒタイト考ヘマスルガ、一方ニ
於キマシテ急激ナ變更ヲ致シマスルト、
熟練シマシタル學徒ガ一時其ノ工場
ヲ去リマスレバ、生産能力ノ上ニ於キ
マシテ、相當ノ低下ヲ來ス憂ヒガアル
ノデアリマス、是等ノコトヲ睨ミ合セ
マシテ、此ノ三月ノ學年ノ轉換期、ソ
レカラ上級學校ノ進學ハ六月ニナリマ
スノデ、其ノ期間ニ於キマシテ適當ナ
配置換ヘヲ行ヒタイト考ヘマシテ、目
下關係省トモ協議中デアリマス、尙ホ
學徒ノ指導ニ當リマスル者、之ヲ軍需
官ニ任命致シマスルコトハ、先般來關
係官廳トノ間ニ折衝中デアリマシテ、
既ニ道府縣廳ノ官吏ヲ軍需監督官ニ任
命スルト云フコトニ付キマシテハ關係
省ノ間ノ協議ガ纏マリマシテ、目下其ノ
手續中デアリマスルカラ、不日ハ發
令サレルコトト存ジマス、尙ホ官立學校
ノ職員ノ兼任ニ付キマシテハ、目下其
ノ人數等ニ付キマシテ、具體的ノ入選、
其ノ他ヲ關係省ト折衝中デアリマス、
其ノ他公私立學校ノ職員ヲ軍需省ノ軍
需部ノ囑託ニスルト云フコトモ、是モ
各關係廳ト交渉中デアリマスカラ、遲
クモ此ノ年度中ニハ是等ノ問題モ解決
スルト考ヘテ居リマス、其ノ權限ハ、
道府縣ノ官吏ニ付キマシテハ、是ハ軍
需官デアリマスカラ當然現在ノ軍需
官ト少シモ變リハナイノデアリマス、唯
ソレガ道府縣ニ於キマスル教學課長ガ
直チニ任命ノ手續ガ行ハレルコトト考
ヘテ居リマス、ソレカラ青年學校ノ生
徒、之ヲ普通ノ學徒同様に取扱フヤウ
ニト云フコトニ對シマシテハ、文部省

第三ノ問題ハ、青年學校ノ生徒ガ工
員中ニ非常ニ多クヲ占メテ居ル、此ノ
現狀ニ鑑ミマシテ、青年學校ノ生徒モ
一般學徒ト同ジヤウニ、學徒動員トシ
テ取扱フノガ適當デハナイカト云フ質
問ガアリマシタガ、之ニ對シテ當局ハ
何等カ具體的ノ御計畫ヲ御持チカドウ
カ、御持チナラバ之ヲ御發表願ヒタイ、
此ノ三ツノ點ニ付テ明確ニセラレンコ
トヲ希望致シマス
○今井政府委員 學徒ノ配置轉換ニ付
キマシテハ、先般豫算總會ニ於テモ申
上ゲマシタ通り、先ヅ此ノ學徒ノ進學
ノ時期及ビ其ノ工場ノ分散疎開之ヲ機
會ニ致シマシテ、或ル程度ノ配置轉換
ヲ行ヒタイと思ヒマス、其ノ配置轉換

第三ノ問題ハ、青年學校ノ生徒ガ工
員中ニ非常ニ多クヲ占メテ居ル、此ノ
現狀ニ鑑ミマシテ、青年學校ノ生徒モ
一般學徒ト同ジヤウニ、學徒動員トシ
テ取扱フノガ適當デハナイカト云フ質
問ガアリマシタガ、之ニ對シテ當局ハ
何等カ具體的ノ御計畫ヲ御持チカドウ
カ、御持チナラバ之ヲ御發表願ヒタイ、
此ノ三ツノ點ニ付テ明確ニセラレンコ
トヲ希望致シマス
○今井政府委員 學徒ノ配置轉換ニ付
キマシテハ、先般豫算總會ニ於テモ申
上ゲマシタ通り、先ヅ此ノ學徒ノ進學
ノ時期及ビ其ノ工場ノ分散疎開之ヲ機
會ニ致シマシテ、或ル程度ノ配置轉換
ヲ行ヒタイと思ヒマス、其ノ配置轉換

第三ノ問題ハ、青年學校ノ生徒ガ工
員中ニ非常ニ多クヲ占メテ居ル、此ノ
現狀ニ鑑ミマシテ、青年學校ノ生徒モ
一般學徒ト同ジヤウニ、學徒動員トシ
テ取扱フノガ適當デハナイカト云フ質
問ガアリマシタガ、之ニ對シテ當局ハ
何等カ具體的ノ御計畫ヲ御持チカドウ
カ、御持チナラバ之ヲ御發表願ヒタイ、
此ノ三ツノ點ニ付テ明確ニセラレンコ
トヲ希望致シマス
○今井政府委員 學徒ノ配置轉換ニ付
キマシテハ、先般豫算總會ニ於テモ申
上ゲマシタ通り、先ヅ此ノ學徒ノ進學
ノ時期及ビ其ノ工場ノ分散疎開之ヲ機
會ニ致シマシテ、或ル程度ノ配置轉換
ヲ行ヒタイと思ヒマス、其ノ配置轉換

ト致シマシテモ御趣旨ハ非常ニ御同感
デアリマシテ、青年學校ノ生徒ハ、現
在職業ヲ有スル者ヲ主ト致シテ居リマ
ス爲メ、一應學徒勤勞令ノ適用カラハ
除外サレテ居リマスガ、中等學校ノヤ
ウニ晝間通年制ノ者ニアリマシテハ、
學徒勤勞令ニ準ジマシテ現在デモ取扱
ハレテ居リマス、將來ニ於キマシテハ
此ノ青年學校ヲ段々育成致シマシテ、
工場事業場ノ青年學校ト致シマシテ、
普通ノ學校ト同ジヤウナ取扱ヲスル程
度マデニ引上ゲテ行キタイト考ヘテ居
リマス、現在ニ於キマシテハ幾多隘路
ガアリマシテ、其ノ實現ヲ見ルコトガ出
來マセヌケレドモ、其ノ點ニ付キマシ
テハ十分考慮致シタイト考ヘテ居リマ
ス

○村松委員長 只今ノ第一、第二ノ問
題ハ時期ニ關スル問題デアリマスガ、
時期ヲ失セザルコトニ關スル強イ要望
ガアリマスルノデ、其ノ點御含ミノ上
迅速的確ニオヤリニナルコトヲ希望致
シマス

○松村政府委員 先程御答ヘ申上ゲマ
シタ外ニ一ツ重要ナ事柄ハ、勤勞學徒
ノ出勤率、殊ニ空襲激化ノ下ニ於ケル
出勤率ハ、男子ノ學徒ハ實ニ驚クベキ
出勤率ヲ擧ゲテ居リマシテ、是ハ一般
ノ工員ト比較致シマシテ非常ニ優秀ナ
ル敢闘精神ヲ發揮シテ居リマス、唯女
子ノ學徒ハ遺憾ナガラ其ノ點ニ付キマ
シテ男子ニ及バザル所ガアルノデアリ
マス、是ハ言フマデモナク、防空待避
其ノ他ノ施設モ強化致シテ居リマスノ
デ、此ノ點ニ付キマシテハ父兄ノ諒解
ヲ求メルベキ事項ト考ヘテ居リマスノ
デ、茲ニ附加ヘ置キマス

○村松委員長 是デ質疑ハ終了致シマ
シタ、是ヨリ現役青年學校職員俸給費

國庫補助法案ヲ議題トシテ討論ニ附シ
マス、討論ノ通告ガアリマスカラ之ヲ
許シマス——渡邊健君

○渡邊(健)委員 本委員會ニ併託サレ
マシタ現役青年學校職員俸給費國庫補
助法案ニ付キマシテ、私ハ翼賛政治會
ヲ代表致シマシテ、時間ノ關係上、簡
單ニ希望意見ヲ申上ゲマシテ、贊成ノ
意ヲ表スル者デアリマス

時局下青年學校教育ノ充實ハ最モ重
要ナル問題デアリマシテ、本法律案ノ
實現ニ依リマシテ、青年學校教員ノ優
遇ノ道ガ拓カレマシタコトハ、正ニ其
ノ一步前進シタモノト言フコトガ出來
マシテ、私共贊意ヲ表スルモノデアリ
マスルケレドモ、是ガ充實向上ニ向ツ
テハ、尙ホ格段ノ御努力ヲ御願ヒ致シ
タイノデアリマス、其ノ他本委員會ニ
幾多有意義ナ質疑應答ガ現ハレマシ
タ、ソレハ一々申上ゲマセヌガ、是等
ノ質疑ニ現ハレマシタ事柄ハ、決戦下
ニ即應スル必要ナル諸施策デアリマシ
テ、之ニ付テハ急速ニ實現セラレンコ
トヲ希望致シマス、殊ニ時局下學徒ノ
軍需生産、食糧増産等ニ占メル物心兩
方面ノ位置ハ非常ニ重大デアリマス、
其ノ數カラ申上ゲマシテモ、軍需生産
關係——食糧増産關係——、國土防
衛、疎開、土建其ノ他——、合計シ
ト云フヤウナ多數ノ學徒ガ之ニ參加シ
テ居リマシテ、是ガ施策ノ良否ハ國力
ニ重大ナル關係ヲ有スルモノデアリマ
ス、デアリマスルカラ學徒ノ勤勞意欲
ヲ昂揚シマシテ、行學一體、勤勞即教
育ノ實ヲ擧グル色々ノ施策ハ、急速ニ
是ガ實現ヲ期セラレタイノデアリマス、
即チ工場ニ教育的雰圍氣ヲ實現スル爲
メ、今委員長カラモ質問ガアリマシタ
ガ、速カニ軍需官ヲ任命シ、又學校及

ビ工場トノ緊密ナル連絡ヲ圖ル諸施策
等ハ特ニ留意實現セラレタイノデアリ
マス、又現在各方面共ニ有爲ナル人ガ
不足シテ居ルト云フコトハ是ハ已ムヲ
得ナイコトデアリマスルケレドモ、第二
國民育成上最モ必要ナル學校教員ノ不
足ハ洵ニ憂慮ニ堪ヘナイモノガアリマ
ス、政府ハ是ガ確保ニ必要ナル教員ノ
物心兩方面ノ優遇、其ノ他適切ナル處
置ヲ講ゼラル、コトヲ希望致シマス、
今回特別措置ト致シマシテ、教育的及
ビ勤勞確保ノ見地カラ、多數ノ學徒ノ
進學ノ途ヲ開イタト云フコトハ洵ニ時
宜ニ適シタル施策デアリマシテ、感謝
ニ堪ヘナイ次第デアリマス、併シ只今
委員長カラモ質問ガアリマシタヤウニ、
此ノ際特ニ今マデ殆ド顧ミラレナカツ
タト言ツテモ宜イヤウナ配置轉換、即チ
適地適能ノ再配置、其ノ他學校ノ工場
化ト云フヤウナコトヲ實現セラル、ヤ
ウ、特段ノ御努力ヲ御願ヒ申シタイ次
第デアリマス、以上意見ヲ申上ゲマシ
テ贊意ヲ表スルモノデアリマス

○村松委員長 討論ハ終局致シマシ
タ、是ヨリ採決ヲ致シマス、原案ニ贊
成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○村松委員長 起立總員、仍チ本案ハ
原案ノ通り可決致シマシタ(拍手)

不慣レナル委員長デアリマシタガ、
能ク御援助戴キマシテ大過ナク終了ス
ルコトガ出來マシタコトヲ感謝ニ堪ヘ
ナイ次第デゴザイマス、本日ハ是ニテ
散會致シマス

午後二時二十四分散會

昭和二十年二月十日印刷

昭和二十年二月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局